



注目MODEL Special Issue **USB DAC**

独自性の追求で定評あるADLから トップモデルESPRITが登場!

Text by **岩井 喬** PHOTO 田代流生
Takashi Iwai

ADL ESPRIT USB入力
(最大サンプリング周波数/bit数)
▶96kHz/24bit

¥71,400

Specifications

●サンプリング周波数: 96kHz/24bit (USB再生)・MAX: 32/44.1/48/96kHz (USB録音)・192kHz/24bit (COAXIAL, TOS) ●周波数特性: 20Hz~20kHz ●SN比: -95dB (A-wtd, ライン出力) ●ヘッドフォン出力レベル: 156mW (16Ω), 224mW (32Ω), 241mW (56Ω), 130mW (3000Ω), 76mW (6000Ω) ●サイズ: 150W×57H×141Dmm ●重量: 約970g ●取扱い: フルテック(株)

USB入力のみDD変換して出力できるデジタル出力(TOS)を装備。また、ライン入力も2系統装備しており、接続機器の選択が豊富なのも魅力

低ジッター動作によるクロックリカバリーを実現

ADLは96kHz/24bit・USB DACとしてではなく、フォアアンプを内蔵させたD/Dへの録音も可能にしたオーディオインターフェイスとしての機能を持ったユニークなGT40に続き、Core™、S/PDIF、USB DAC内蔵ポータブルヘッドフォンアンプをリリース。ネットオーディオユーザーの間にも独自性ある製品を手掛けることで一目置かれる存在となっているが、この度GT40よりもさらに上位となるフラッグシップモデルとして「ESPRIT」が発売されることになった。

ESPRITはDACチップに102kHz/24bit対応のウォルフソン製WM8716、ADCチップにはシラスロジック製CS5361を搭載。DIRRには同CS8416を用いており、低ジッターでのクロックリカバリーを実現しているという。本機は一般的なUSB DAC機能に加え、GT40と同様にアナログ入力をデジタルへ変換するADC機能や入力信号を録音するインターフェイスも内蔵している。入力には96kHz/24bit対応USBに加えて192kHz/24bit対応S/PDIF入力/同軸、光、2系統のアナログRCA入力を装備。出力はアナログRCAのほか、16~600Ωまでに対応するヘッドフォン出力、USB音源のみ出力できるS/PDIF光デジタル出力も用意される。ヘッドフォンアンプ回路には11V製オペアンプTPA6120A、ライン出力用オペアンプ

ではB製OPA2134が用いられ、アナログ回路にはエルナー製ROBキョバシタなどの高品質部品を投入している。またフロントパネルには録音時の減衰レベルを6dBまたは12dBに切り換えられるRec/Aut dBスイッチが設けられるほか、テフロン絶縁を用いた自社製24KメッキRCAシヤックやアルミ削り出しフロントパネル&ボリウムフッ素塗布し、フラッグシップらしい高級感を演出している。

澄んだ余韻とスムーズで艶の感じられる音像描写

サウンド面であるが、まずはUSBに入力したものをライン出力から確認してみよう。解像度、透明感の高い音場を形成し、ウッドベースをはじめとした低域はむっちりとした弾力に満ちた質感がある。クラシックの管弦楽器はきめ細やかでハイエーノのキレも良く、澄んだ余韻を見せる。奥行きや定位感、位相表現も素直でスムーズかつ艶がはたのりと感じられる音像描写も耳馴染み良い。ピアノは場々しく、ウオーカルはふつくとしたポムト感で安定している。純粋にヘッドフォンベイヤイティナミクサーでの試験であるが、解像感、S/Nの良いステレオ的なサウンドで、余韻の収束も早い。キレ良く伝達感のない音場描写もある。ウオーカルも鮮度が高い。低域を引き締め、音像はシャープな輪郭を際立たせる傾向だ。見通しは深くクリアな音色であり、エレキのリフはほのかな倍音感によってまるやかな粒立ちを見せている。